



2019年10月7日
株式会社海遊館 広報チーム
〒552-0022 大阪市港区海岸通1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<https://www.kaiyukan.com/>

(担当：村上、新谷、林、山田、柿本)

絶滅危惧種の海鳥“エトピリカ”の繁殖に成功 日本の水族館が連携し、種の保存に貢献しています！

大阪市港区の海遊館では、エトピリカの生態や繁殖などの共同研究を推進するため、アクアワールド茨城県大洗水族館（公益財団法人いばらき文化振興財団）の協力を得て、2018年6月29日（金）から「アリューシャン列島」水槽で本種の飼育展示を開始しています。（2018年6月25日報道発表済み）。この度、2019年7月31日（水）に1羽の雛が誕生し、無事に巣立ちを迎えたため、お知らせいたします。

海遊館でエトピリカが繁殖するのは今回が初めてです。

エトピリカは北太平洋の亜寒帯域に広く生息する海鳥で、現在、日本国内では北海道の一部地域でのみ繁殖が確認されています。しかし、その数は少なく、レッドリスト絶滅危惧 IA 類に分類されています。日本国内の水族館では5施設で合計84羽（2018年12月時点）のエトピリカが飼育され、繁殖促進に努めています。

海遊館では搬入してすぐ健康管理を目的に、エトピリカが自ら体重計に乗るトレーニングを続けてきました。その結果、生き物にストレスを与えることなく体重測定を実施することが可能になり、今回の産卵も体重の変化と行動観察の結果から、発見に至りました。



2019年9月16日撮影

誕生した雛は親鳥によって育てられ、巣立ちを迎えた現在は、他の個体と同様に、飼育員の手元から餌を食べられるようになりました。一般公開中の「アリューシャン列島」水槽では、幼鳥の特徴である黒い羽の姿と、エトピリカの特徴である“潜水”する様子をご覧いただけます。今後、雛は3～4年かけて成鳥と同じ姿になります。

今後も、日本国内の水族館と連携を深め、エトピリカの保全に貢献するとともに、エトピリカの生態や魅力を発信していきたいと考えています。

【取材にあたってのお願い】

撮影は、観覧通路からのみ可能です。

撮影を希望される場合は、事前に広報チームまでご連絡ください。

海遊館 広報チーム (06-6576-5529)

※生き物の状態によっては撮影依頼をお受けできない場合があります。

また、撮影途中でも中止をお願いする場合があります。

【今回繁殖に成功したエトピリカについて】

産卵日：2019年6月21日

孵化日：2019年7月31日

雛の大きさ：体重 51.8g (8/1 時点)

体重 510g (9/26 時点)

親鳥：愛称「おこっぺ (オス)」

愛称「ところ (メス)」



体重測定の様子 (2019年8月7日撮影)

【エトピリカについて】

和名：エトピリカ

英名：Tufted puffin

学名：*Fratercula cirrhata*

チドリ目ウミスズメ科に分類される海鳥の一種で全長約 40cm になる。

体は黒く、夏羽では額、顔側面部が白く、目上から黄白色の飾羽が出ている。嘴は縦に扁平で、赤色と黄緑色。脚は赤い。冬羽では飾羽がなく、顔側面の白色部は小さくなる。島や海岸の崖上部の土中に巣穴を掘り、集団で営巣し、メスは 1 回の産卵で 1 個の卵を産む。

【「アリューシャン列島」水槽について】

水槽容量 約 300t、深さ約 6.2m、水温 12℃、展示面積 297 m² (うち、20 m²の陸地部分を含む)

アメリカ合衆国のアラスカ半島からロシアのカムチャツカ半島まで延びる列島の一部を再現した水槽で、現在 6 羽 (今回繁殖した雛を含む) のエトピリカと、約 500 尾のサクラマスを表示しています。

【巣立ちまでの様子】



2019年8月27日撮影



2019年9月11日撮影